

十七回忌法要 表白

敬つて

大慈大悲の阿弥陀如来の尊前に

白して言さく

本日ここに

有縁参詣の人々とともに

恭しく仏前を荘厳し

懇ろに聖教を読誦して

法名 釈 の

十七回忌法要を勤修し奉る

それ惟れば

三界は 因縁所生の境界なり

縁によって生じ 縁によって滅す

たまたま 受け難き人身を享くといえども

永生望むべきにあらず

人の生命のはかなきこと

さながら 風のなかの灯の如し

然れども 我等

遠き宿縁と お しゆくえんのもよおしあずかに与あつて

弥陀みだの誓願せいがんに遇あう

無常むじやうじんそく迅速そくによつて

かえりて 仏智ぶつちの不思議ふしぎを思おもひ

生者しやうじやひつめつ必滅めつによつて

いよいよ 弘誓ぐせいの広大こうだいを知る

いまや

懐なつかしき聲咳けいがいは

無常むじやうの風かせに消えたりといえども

この法縁ほうえんに列つらなる 我われら

親疎しんそひと等としく 故人こじんの遺徳いとくを思しのひ

いよいよ 仏恩ぶつとんの広大こうだいなるを信知しんちして

念仏ねんぶつの大道だいどうを歩あゆみ

当来とうらいには 往生おうじやうじやうど浄土じやうどの素懐そかいを遂とげて

俱会くえいつしよ一処いつしよの喜びよろこを分わかたん

希ねがわくは

如来にょらい 哀愍あいみんのうじゆ 給たまわんことを

敬うやまつて言もす